

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ダブルレインボー		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 19日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもたちのそれぞれの特性を見て職員が情報共有して同じように接することができている。	逐次ミーティングや日ごろの会話などで子供たちの情報共有や個別支援計画の確認などを行っている。	時間を決めて定期的にカンファレンスを行う事で更にお互いの認識を深める必要がある。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外との交流、保護者間の交流などの機会が少なく、保護者間や地域住民との連携がほとんど取れていない。	コロナ禍以降外部との接触機会がほとんどなくなり、定期的に行っていた親子療育などのイベントも回数が激減してしまった。それに加え、企画力がある職員が少なくなってしまったことが一つの要因として考えられる。	何をいつ、どのタイミングで、年間何回ぐらい行うのかという事を全員で話し合っ決定し、それに向かって一人が計画するのではなく、全員がチームとなってその中心に企画力がある職員がそのチームを仕切り、全員で行事を遂行するという文化を作ることが必要である。
2			
3			